

色覚チヨークについて

針貝 和幸 議員

○ 国内の色覚異常の現状をどのように把握していますか。
 ○ 文部科学省の色覚に関する指導の資料によると、色覚異常頻度は男子は20人に1人、女子は50人に1人の割合です。
 ○ 本市の色覚検査の現状について伺います。

道路行政について

鈴木 哲也 議員

○ 市道3804号線における今後の整備計画について伺います。
 ○ 引き続き枝木などの対策や階段部分の表面など、適切に維持管理をしていくとともに、手すりの設置という要望もあることから、今後利用しやすくするため、どのような手法や構造が最善であるかなど、対策を検討していきます。

国民健康保険料が与える市民生活への影響・子どもの均等割りについて

松原 美子 議員

○ 本市での国民健康保険料の均等割は、子どもが生まれた瞬間から、2万4千600円の負担が発生し、子どもが増える毎にこの額が加算されます。会社員等が加入する協会けんぽにはこの負担はありません。これは高過ぎる国民健康保険料の要因になっているのではないかと考えますが、今後どのように取り組まれていくのか、市長の考えを伺います。

東京2020オリンピック・パラリンピックと連携したまちづくりについて

宗川 洋一 議員

○ 聖火リレー当日はどのようなことを予定していますか。
 ○ 千葉県や組織委員会と協議し、市独自イベントの実施について検討しています。
 ○ 聖火リレー当日以外の取り組みを伺います。
 ○ 市独自の事業は検討中ですが、具体的に進んでいるものとして、学校連携観戦チケットの提供があります。

護者への周知に努めるよう示しています。本市では小学校4年生の全ての保護者へ色覚検査に関する手紙を配り周知に努め、今年度の受検率は約8割です。
 ○ 今後の色覚チヨーク導入について伺います。
 ○ 本市では14校中5校で導入しており、導入していない9校についても、導入を推奨していきます。

ことから、早期に整備が完了するよう進めていきたいと考えています。
 ○ 地権者により工作物などの支障物件を撤去した後、電柱などのインフラ移設工事を行い、その後道路の拡幅工事を行うこととなります。市としても長年の懸案である

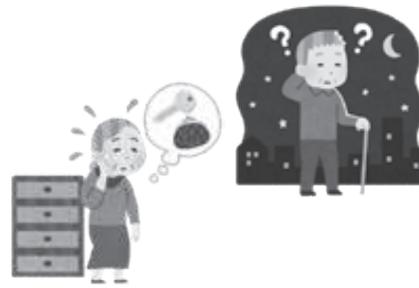


市道3804号線 (道野辺字西山地区の階段)

認知症施策の推進について

葛山 繁隆 議員

○ 高齢者認知症の現状と将来予測について伺います。
 ○ 症状があっても病院を受診していないなど実態把握が難しく、全数把握はしていませんが、医師の意見書によると、認知症とみられる方は、平成29年度末時点で、2千788人、平成30年度末時点では、3千193人と増加しています。高齢化が進展する中、今後も認知症の人は増加していくものと予測されており、本市においても同様に増加していくものと考えています。
 ○ 認知症施策の今後の課題について伺います。
 ○ 課題は、認知症への理解を深めること、不安を持つ人や介護者が地域で孤立しない



魅力ある学校づくりの現状と今後の施策について

河内 一朗 議員

○ 全国市長会では、国に対して子育て世帯の負担軽減を図るために、子どもにかかわる均等割保険料を軽減する支援制度の創設を求めています。その方向性は非常に正しいと思いますので、全国市長会での実現に向けて努力し、まずは国で議論されるべきものと考えております。

○ 学ぶ意欲を育てる学校の設備面での具体的な取り組みを伺います。
 ○ 平成26年度と平成27年度の2カ年で小中学校の全教室に空調機器を設置する改修工事を実施し、平成29年度以降は、国の交付金を活用し、トイレの改修工事を毎年度実施しています。ほかにも図書室の照明器具の増設や家庭科室の調理台の修繕など、学校からの要望に適切に対応し、教育環境の改善に努めています。
 ○ 体育館等への空調機器設置の予定について伺います。
 ○ 体育館等への空調機器の設置については、建物の補強などの措置が必要となり、設置費用に加えて多額の経費が必要になる場合があります。また、機器の設置費用のみならず、設置場所などさまざまな事項を検討した上で慎重に検証する必要があります。



道野辺小学校トイレ改修工事 道野辺小学校空調機器設置

超高齢社会を見据えた移動支援サービスについて

矢崎 悟 議員

○ 高齢化の進展に伴う移動支援サービスの今後の課題について伺います。
 ○ 支援や介護の必要な方、また介助者の高齢化に伴い、移動が困難な方へのサービスの充実を図るとともに、介護予防の観点から、公共交通機関などの利便性の向上や気軽に外出できる環境づくりが必要と認識しています。
 ○ 令和3年度からのききょう号の運行計画の策定に向けた現在、検討が行われていると

防災について

後関 俊一 議員

○ 防災に対する取り組みについて伺います。
 ○ 鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、災害予防活動や応急復旧活動などの災害対応、防災行政無線やホームページへの防災情報の掲載、総合防災訓練による防災意識の醸成、

教師が子どもの教育に集中できるための「働き方改革」について

津久井 清氏 議員

○ 全国の公立小中学校教員の志願者数が2012年度と比べると、大幅に減少しています。全国の主な65教育委員会に対する調査によると「多忙であるなど教職へのイメージが低下し、受験者が減っている」と6割弱から回答があり、教師の質の低下が危惧されますが、本市の認識を伺います。
 ○ 本市も電話は午前7時半

期日前投票について

徳野 涼 議員

○ 投票率の低下が続いていますが、働き方も多様化している中で、期日前投票の重要性は高まっていると感じますが、期日前投票の投票率の推移について伺います。
 ○ 選挙全体の投票率は下降傾向にありますが、期日前投票所での投票率は上昇しています。
 ○ 期日前投票所を駅前や、ショッピングモールなど生活動線に設置すれば投票率の向上に繋がると考えますが、市の認識を伺います。
 ○ 現状では、期日前投票所

伺っています。今後の超高齢社会を見据えての検討が重要と考えますが、移動支援に対する市の見解を伺います。
 ○ ききょう号は高齢者などの日常生活の移動手段の確保を目的としており、サービス内容の充実や施策の有効性について、コミュニティバス運営検討委員会で検討していきます。
 ○ された場合には、安全対策課全員が参集し、災害警戒本部注意配備体制をとります。
 ○ 各地域での防災に対する取り組みについて伺います。
 ○ 自主防災組織の運営と相互の連絡を図ることを目的とした鎌ヶ谷市自主防災組織連絡協議会を組織し、地域の防災力向上に努めています。
 ○ 市内の学校では夜間パトロールに、教員が参加しています。負担軽減のために削減すべきと考えますが、いかがですか。
 ○ 夜間パトロール等は学校以外が担う業務であるとの文部科学省の通知に基づき代替策を講じるなど削減に向けて見直していく必要があると考えています。
 ○ 増設は考えていません。本市は面積が狭く、大変コンパクトな市であり、市の中心にある市役所を含む2カ所の期日前投票所での対応可能と考えています。加えて増設については、投票所における管理上の問題や事務量の増加など、様々な課題があると認識しています。

(注) 災害リスクスケール：時間ごとの雨量や気象警報等の予測など防災気象情報サービスの一部